

自治体名	東京都 武蔵野市
------	----------

女性の健康づくり対策の概要

武蔵野市においては、市民の健康増進に関する施策として、生活習慣病の予防と健康増進に関する正しい知識の普及を図るための健康講座を実施し、その中で女性の健康づくりに関する講座等をおこなっている。また、市の保健センターにおいて、市民の心身の健康に関する個別の相談に応じて必要な指導や助言をおこなう健康相談の実施や、女性に多い骨量減少者を早期発見し、予防対策を指導する骨粗しょう症予防検診事業を実施し、女性の健康維持に寄与している。

乳がん・子宮がんといった女性特有のがんについては、広報誌の発行等により、検診や予防に関する知識の普及啓発に努めているが、さらに各検診事業への効果を高めるよう、女性を対象とした事業において普及啓発を図る。

自治体の特徴

東京都のほぼ中央に位置する武蔵野市。平坦な地形にめぐまれた街は、昭和22年、特別区に隣接する郊外住宅都市としてスタートした。緑豊かな住宅都市と教育・福祉・健康・文化・スポーツ・情報などの生活型の産業が高度に集積して、調和した「生活核都市」として発展し、住んでみたい街としてそのイメージが定着している。

人口構成 (H21.3.1現在)

	総数	男	女
人	134,715	65,035	69,680
割合(%)	100%	48%	52%

15歳未満	14,472	7,515	6,957
15～64歳	93,183	46,483	46,700
65歳以上	13,178	5,890	7,288
75歳以上	9,876	3,940	5,936
85歳以上	4,006	1,212	2,794

女性に関する健康課題

乳がんの受診率は13.8%（偶数年齢、平成20年度）、子宮がんの受診率は9.8%と低く、市の第二期健康推進計画において、受診しやすい体制づくりの推進やより効果的な普及啓発活動をおこなうなど、がん検診の充実を図ることが目標としてあげられている。

事業費（千円）

(1) 女性の健康づくりに関する事業（総額）	6,918
(2) 報告事業（再掲）	3,144

事業名	骨粗しょう症予防教室
分野	■健康教育 □健康手帳の交付 □健康相談 ■知識の普及 □啓発普及
事業費（千円）	3, 144

事業目的

高齢女性の骨折等の基礎疾患となる骨粗しょう症の予防対策として、骨量減少者の早期発見・早期指導による骨折の発症を防止し、健康教育を行うことを目的とする。また、女性特有のがんについての検診や乳がん早期発見のための自己検診法の普及啓発を図る。

事業対象

平成21年4月1日現在、20歳から70歳までの5歳刻みの年齢に達する女性。

事業実施体制・展開

- ① 市報等で年3回募集し、実施する。（1期3日間*1日70人*年3回=630人）。
- ② 申込者に健診の問診票を送付し、健診日に持参してもらう。
- ③ 保健師が健康教育を行い、(財)武蔵野市健康開発事業団の検査技師・看護師による問診、身長、体重、レントゲン撮影を行う。
検査の待ち時間に乳房モデルを使用し、乳がんの自己検診法を伝える。
- ④ CIP法による解析を行う。
- ⑤ 武蔵野市医師会所属の医師、(財)武蔵野市健康開発事業団の医師・看護師・事務、市保健師・栄養士をスタッフとして、判定会議を行い、指導区分を判定する。
- ⑥ 「健常者」「要予防者」には郵送にて結果を返却。希望者には個別相談を勧奨する。
「精密検査者」には個別に結果を返却し、医師による個別指導・精密検査票を発行する。

事業目標・評価項目 及び その結果

- ① 市報による広報だけでなく、より多くの方に参加してもらえるよう勧奨はがきを送付した。
(25歳・30歳・35歳・40歳・45歳の方4323名)
- ② 専門職をスタッフとした判定会議を実施し、「精密検査」が必要な参加者を抽出した。
(Ⅰ期：19名/117名、Ⅱ期：32名/112名、Ⅲ期：3月29日判定日のため
人数未定)

事業の工夫点

- ① 20年度までは2日制だった教室を1日制にしたことで、市民が参加しやすくなるよう工夫した。
- ② 骨塩定量検査（手のレントゲン撮影）だけでなく、保健師による健康教育も合わせて実施し、普段保健センターに来る機会の少ない年齢層にも健康教育を行うことができた。
- ③ 乳がんの自己検診法を同日実施することで、市民の乳がんへの意識を高め、普及系活を行なうことができる。

事業の効果についての評価・考察

判定会議の結果、「要精密」と判定された方を、医療機関につなぐことができ、骨量減少者の早期発見という事業の目的を達成することができている。（第Ⅰ期：19名／117名、第Ⅱ期：32名／112名）
 健康教育を「要精密」と判定された方だけでなく、全員に健康教育を行なえるため、骨粗しょう症予防だけでなく、生活習慣の見直しの機会となっている。

今後の課題

若い年齢層に参加してもらいたくて、2日制から都合のつきやすい1日制に変更したが、60歳・65歳・70歳の参加人数のほう若い世代よりも多いので、若い年齢層へのPRが課題である。

ホームページ	http://www.city.musashino.lg.jp
照会先	武蔵野市 健康福祉部 健康課

事業評価	(自己評価)
①活動内容	4 精密検査が必要な参加者を早期に発見でき、医療機関につなぐことができている。
②独創性	4 骨塩定量の測定だけでなく、健康教育もあわせて実施している。
③普遍性	2 骨塩定量の測定は、整形外科でも実施できる。
④将来性	5 骨量の減少に伴う骨折等を防ぐためにも、骨塩定量の測定は大切である。
⑤効果度	5 骨塩定量の測定値を本人に数字で示すことができるので本人の納得を得やすい。
⑥信頼度	5 市保健師や、医師、(財)健康開発事業団のスタッフなど専門職のメンバーが判定会議を実施していて信頼できる。

